

6 / 2 2 校長室より No.40

〈今日の地区大会報告会の講評で、次のような話をしました〉

まず、優勝・入賞したみなさん、おめでとうございます。そして今の報告を聞くと、すべてのチーム・個人が精一杯のプレーをしてくれたようです。各顧問の先生方の話を聞いても、持っている力を最大限に出そうという気持ちが感じられる試合だったとのこと、大変うれしく、誇らしく思います。



ただし、勝つチームがあれば負けるチームもあります。負けたことは悔しいでしょうが、その悔しい気持ちというのは今まで懸命に取り組んできたことの裏返しです。これまで流した汗が無になることはありません。大切なことは、「**負けたことに負けない**」ことです。これは、以前私が監督として熊本であった中体連の全国大会、いわゆる全中に出場した時、その大会会長さん（もしくは熊本県剣道連盟の会長さんだったか）がおっしゃった言葉です。大事なことだなと思い、とても印象に残っているので紹介しました。

「**負けたことに負けない**」…、わかりますか？ 負けたことで投げやりになったり、負けたことを人のせいにしたたり、あるいは負けて落ち込み過ぎたり自暴自棄になったりしないことです。負けたことを謙虚に受け止め、さらには負けたことから何かを学んで、次の目標にしっかり向かって行ってください。

勝った人は、次は西置賜の代表として県の舞台で戦うこととなります。代表としての誇りを持つとともに、敗れた人の思いも背負って県大会の場で大暴れしてきてください。



それでは、すべての部の健闘を讃えるとともに、西置賜代表となったみなさんの県大会での活躍を祈念して、地区大会の講評とします。ごくろうさまでした。